

☑ 知っておかなきゃ!  
.....  
研究公正のキホン  
.....

テーマ

【理学系】  
“オーサーシップについて”

# 論文著者に 求められる研究への 実質的貢献とは？

point

- ・ 投稿先のオーサーシップの規程を把握しよう
- ・ 共著者にすべきか、謝辞に載せるべきか？

近年、「不適切なオーサーシップ」が研究不正として問題化する事例が続いて発生しています。文部科学省はホームページで、不正行為が認定された事案を掲載しています。そこでは、2020年から2023年の4年間に不正行為が認定された52件のうち約2割（11件）の事案で「不適切なオーサーシップ」が報告されています\*。

[出典]

\*「文部科学省の予算の配分又は措置により行われる研究活動において不正行為が認定された事案（一覧）」、文部科学省 [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fusei/](https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/) (参照 2024-9-1)

事例\*\*

論文に掲載された図に改ざん等の不正疑惑の指摘があり、調査を行った結果、ねつ造、改ざんおよび不適切なオーサーシップが認定されました。本事案では、図面のスケールバーを実際とは異なる長さとして示す等の不正行為（ねつ造、改ざん）が認定された論文（42編）のうち2編において、投稿前に共著者の了承を得ることなく投稿を行っていたために不適切なオーサーシップが認定されています。

\*\*産業技術総合研究所上級主任研究員による研究活動上の不正行為（捏造・改ざん等）の認定について、文部科学省「文部科学省の予算の配分又は措置により行われる研究活動において不正行為が認定された事案（一覧）」に掲載の事案より

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/jinzai/fusei/1360847\\_00041.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1360847_00041.html)  
(参照 2024-9-1)

詳しくはウラ面へ→

**RISTEX**  
社会技術研究開発センター

本リーフレットは、JST-RISTEX 科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム（第3期：令和3～6年度）『研究分野の多様性を踏まえた研究公正規範の明確化と共有』JPMJRX21B5の支援のもと制作しました。

# 論文著者に求められる研究への実質的貢献とは？

## 【理学系】“オーサーシップについて”

### ■ 著者資格について

学術論文において、だれが著者なのかを明確に示すことは、成果に対する正当な評価を受ける上でもとても重要です。例えば、Committee on Publication Ethics (COPE) の Discussion Document: authorship\* では、著者資格について研究分野によって多様性が見られるものの、分野を超えて共通するものとして、以下が示されています。

- 1) 研究への実質的な貢献 (substantial contribution to the work)
- 2) 研究結果と成果発表に対する説明責任 (accountability for the work that was done and its presentation in a publication)

共著者に求められる要件は、研究分野や学術誌によって異なることがあります。ここでは、理学系の3つの学協会で示されている著者資格の取り扱いにおいて、特徴的な点に絞って紹介します。

出典

\*COPE Council. COPE Discussion Document: Authorship. September 2019. DOI: <https://doi.org/10.24318/cope.2019.3.3>  
(参照 2024-9-1)

## 1 米国化学会 (American Chemical Society) の場合

化学研究論文における倫理ガイドライン (Ethical Guidelines to Publication of Chemical Research)\* では、共著者に関することについて (sec. B.12)、「論文における共著者は、発表された研究に対して科学的に重要な貢献をし、結果や発表に対する責任を持てる者である」としています。「著者は、技術スタッフやデータ分析の専門家の貢献を適切に示すべきである」とし、研究における貢献について、謝辞の欄を活用して適切に記載することを求めています。また、「論文を提出する著者は、原稿の草稿を全ての著者全員におくり、共著者としての同意を得る必要がある」としています。ガイドラインには、研究に貢献のあった故人の研究者を共著者とする場合についても記載されていますので、必要に応じて確認をしてください。

出典

\* Ethical Guidelines to Publication of Chemical Research, American Chemical Society (2017.5).  
<https://pubs.acs.org/userimages/ContentEditor/1218054468605/ethics.pdf>  
(参照 2024-9-1)

## 2 米国物理学会 (American Physical Society) の場合

APS倫理基準 (Ethics Standards)\* では、著者となるのは「研究の立案、デザイン、実施、結果の解釈、論文執筆のいずれかにおいて重要な貢献をした者」としています。また、すべての著者に対して、研究と論文の内容に対して説明責任を負うことを求めています。ただし、学際的な研究ではそれが困難かもしれないが、その場合も、個々の寄与について早い段階で互いに共有しそれを踏まえて話し合うことが重要だとしています。

出典

\* Ethics Guidelines, American Physical Society,  
<https://www.aps.org/about/governance/policies-procedures/ethics>  
(参照 2024-9-1)

また、オーサーシップに関する争いを避けるため、論文執筆を開始する時点で、だれが著者になるか、著者順をどうするか、だれが著者として謝辞等に記載されるかを決定するとともに、決定事項について研究チームの全員が承認することが有効だと指摘しています。物理学で著者数が非常に多くなる大規模研究では、オーサーシップの決定に関して独自のルールが定められることがあります。そのような合意事項についても、オーサーシップの決定が透明なプロセスに基づいている場合に限り、認められるものとしています。

## 3 米国数学会 (American Mathematical Society) の場合

著者ポリシー (Authorship Policy)\* では、

- ・著者順はアルファベット順で記載されることが多い。
- ・原稿提出後の著者順の変更や追加・削除は、全著者間での協議と承認を得ることとし、著者全員が署名した書簡ないし著者全員への同報メールにて編集者に対して説明する。

としています。また、謝辞に掲載することを推奨する貢献内容として、「データ収集または分析 (Data collection or analysis)」をあげている点は特徴的です。

出典

\* Authorship Policy, American Mathematical Society,  
<https://www.ams.org/publications/journals/policies/authorshippolicy>  
(参照 2024-9-1)

## ● 3つの学術団体の著者資格 (オーサーシップ)

著者資格に対するガイドラインやポリシーを比較すると、研究手法や規模などの特徴の違いにより、それぞれの研究分野における著者資格に対する考え方の違いが見えてきます。分野を越えた学際的な研究においては、研究分野間での著者資格の違いを事前に確認し、論文の著者を誰とするか、謝辞に掲載すべきことは何かを、研究チーム内で事前に確認することが重要です。

### プロジェクト紹介

科学技術イノベーション政策のための  
科学研究開発プログラム (第3期: 令和3~6年度)

## 研究分野の多様性を踏まえた 研究公正規範の明確化と共有

近年問題となることの増えてきた二重投稿や不適切なオーサーシップ等について、問題への認識は分野を超えて共通しています。しかし具体的にどのような行為を二重投稿や不適切なオーサーシップとみなすかについては、研究分野によって考え方や対応が異なることがあります。本プロジェクトでは、研究分野の多様性を踏まえて、研究公正規範の明確化と共有を図る仕組みづくりを目指しています。

